

第4回島田市平和都市宣言制定委員会 報告

日 時：平成26年5月15日（木）午後7時

場 所：島田市役所 第3委員会室

1. 関係資料

- ・資料1 平和都市宣言案（事務局修正案とパブリックコメント募集案）
- ・資料2 パブリックコメント提出意見一覧
- ・資料3 宣言文文章解釈

2. 報告事項

(1) 開会

堀内委員長より挨拶の後、議事に入った。

(2) 議事

①市民パブリックコメント意見と事務局対応案について（事務局説明）

- ・4月7日から5月7日までに実施したパブリックコメントでは20人の方から意見の提出があった。それぞれの意見の内容と事務局の回答案について説明した。

（詳細は資料1のとおり）

②宣言文素案について、意見交換

下記の通りの意見があり、議論を行った。

- ・第1段落の挨拶は自然と出てくる言葉であり、入っていて良いと思う。
- ・全体的なつくりは詩的で格調高く、一つ一つの言葉に意味合いが様々に推測されるものとなっている。一方、宣言文だけを見た方に対しては島田市の宣言のコンセプト等の説明をどう加えていくか、大事。
- ・「そんな平和」を「永遠（とわ）の平和」とした修正は、過去の事も考えながら、争い・戦争・テロ・犯罪など包括した平和を将来に向けて考えているので、修正案の方が言葉の意味がよくわかり賛成する。
⇒一つ一つの事象を取り上げると際限なくあふれてしまう、全てを包含した象徴としている。（事務局）
- ・パブコメには様々な事象を具体的に入れた方が良いとの意見もあるが、市としてどうするか見えなくなるので、個々が解釈できる原案が良い。
- ・修正案でわかりやすくなってきて良いと思う。
- ・「武器、兵器」を「道具」とした置き換えは、心情的なことも含め、包括的な意味合いとなり修正は賢明である。個人の価値観で解釈すれば良い。
- ・細かな解釈文ではなく、端的に捉えた説明文が付くとわかりやすくなる。
→事務局で検討をしていただく。（委員長）
- ・「武器、兵器」が「人を傷付け不幸にする道具」は以前の案に戻ったが、自分はこれで良い。
- ・「人を傷付け不幸にする道具」には武器・兵器以外に想像される物が無いのなら、「武器、兵器」のままが良いのではないかと？

→人に害を加えるものとしては、PM2.5を初めとして鳥インフルエンザなどのウイルス類もある。それは道具ではない。また「道具」は固いイメージとなり、宣言の全体的なやわらかなイメージとは違う。「もの」にすることで、心も含めすべてを包含するので良い。

(「道具」を「もの」とすることで了解された)

・「あなたがいてくれてありがとう」は、呼びかけるので「いてくれてありがとう」が良い。

→「あなたがいてくれてありがとう」はあなたが無事にいること、生命(いのち)の尊さのことであるので「生命の尊さを伝えよう」と重複するので削除していいのではないか。

(削除することについて制定委員会では承諾されたが、市長説明の中で前後の流れとして「あなたがいてくれてありがとう」を入れていくべきとの判断があり、委員長とも相談の上、この文言を復活させた。)

(3) その他

事務局素案と委員会での意見

島田市平和都市宣言(案)	
全体に関わる意見	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的なつくりは詩的で格調高く、一つ一つの言葉に意味合いが様々に推測されるものとなっている。一方、宣言文だけを見た人に対して島田市の宣言としてのコンセプト等の説明をどう加えていくか、大事。 ・パブコメには様々な事象を具体的に入れた方が良いとの意見もあるが、市としてどうするか見えなくなるので、個々が解釈できる原案が良いと思う。 ・修正案でわかりやすくなってきて良い。 ・細かな解釈文ではなく、端的に捉えた説明文が付くとわかりやすくなる。
<<段落ごとの意見>> 「おはよう」 「おはようございます 今日はいいいお天気で	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶として自然に出てくる言葉で良い。

すね」

「いってきます」

「いってらっしゃい 気をつけてね」

何げないあいさつを交わしあえるよろこび
それは 平和という宝もの

でも それは争いや災害など
多くの苦しみや悲しみを乗り越えた
強さや優しさによって
築きあげ 守られてきたもの

現在を生きる私たちに託されたことは
すべての人に永遠の平和が訪れるよう
お互いを認め合い 助け合い
分かち合える社会を実現し
次の世代へつないでいくこと

私たちは呼びかけます

「今日より明日をいい日にしよう」

「生命の尊さを伝えよう」

「あなたがいてくれてありがとう」

そして すべてのものに「ありがとう」

私たちは叫びます

「人を傷つけ不幸にする道具はいらない
持つことも認めない」

・「そんな平和」を「永遠（とわ）の平和」とした修正は、過去の事も考えながら、争い・戦争・テロ・犯罪など包括した平和を将来に向けて考えているので、修正案の方が言葉の意味がよくわかり賛成する。

⇒一つ一つの事象を取り上げると際限なくあふれてしまう、全てを包含した象徴としている。（事務局）

・「あなたがいてくれてありがとう」は、呼びかけるので「いてくれてありがとう」が良い。

→「あなたがいてくれてありがとう」はあなたが無事にいること、生命（いのち）の尊さのことであるので「生命の尊さを伝えよう」と重複するので削除していいのではないか。

・「武器、兵器」が「人を傷付け不幸にする道具」は以前の案に戻ったが、自分はこれで良い。

<p>「歴史が培った大切な財産<small>ざいさん</small>を消し去<small>け</small>ることは許<small>ゆる</small>さない」</p>	<p>・「人を傷付け不幸にする道具」には武器・兵器以外に想像される物が無いのなら、「武器、兵器」のままが良いのではないか？</p>
<p>私たちは宣言します 大井川の清流に育まれた緑ゆたかな島田市が 平和を願う世界中の人たちとともに 笑顔<small>た</small>の絶えない明るい未来<small>みらい</small>をめざして 歩み<small>あゆ</small>みつづける平和都市<small>へいわとし</small>であることを</p>	

「おはよう」

「おはようございます 今日（きょう）はいいお天気（てんき）ですね」

「いってきます」

「いってらっしゃい 気（き）をつけてね」

何（なに）げないあいさつを交（か）わしあえるよろこび

それは 平和（へいわ）という宝（たから）もの

でも それは争（あらそ）いや災（さい）害（がい）など
多くの苦（くる）しみや悲（かな）しみを乗り越（こ）えた

強（つよ）さや優（やさ）しさによって

築（きず）きあげ 守（まも）られてきたもの

現（いま）在（ざい）を生きる私（わたし）たちに託（たく）されたことは

すべての人（ひと）に永（えい）遠（えん）の平和（へいわ）が訪（あ）げられるよう

お互（たが）いを認（みと）め合い 助（たす）け合い

分（わ）かち合（あ）える社（しゃ）会（かい）を現（げん）現（げん）し

次（つぎ）の世（せ）代（だい）へつないでいくこと

私（わたし）たちは呼（よ）びかけます

「今日（きょう）より明（あ）すのいい日（ひ）にしよう」

「生（いのち）命（めい）の尊（ととま）さを伝（つた）えよう」

「あなたがいてくれてありがとう」

そして すべてのもの（もの）に「ありがとう」

私（わたし）たちは叫（な）びます

「人（ひと）を傷（きず）つけ不（ふ）幸（こう）にする道（どう）具（ぐ）はいらぬ 持（も）つことも認（みと）めない」

「歴（れき）史（し）が培（つちか）った大（たい）切（せつ）な財（ざい）産（さん）を消（け）し去（さ）ることは許（ゆる）さない」

私（わたし）たちは宣（せん）言（げん）します

大（お）井（い）川（がわ）の清（せい）流（りゅう）に育（よ）まれた緑（りょく）ゆたかな島（しま）田（た）市（し）が

平和（へいわ）を願（ねが）う世（せ）界（かい）中（ちゆう）の人（ひと）たちととも

笑（えが）顔（が）の絶（た）えない明（み）るい未（み）来（らい）をめざして

歩（あゆ）みつづける平（へい）和（わ）都（と）市（し）であること

「おはようございます。」

「おはようございます。今日（きょう）はいいお天気（てんき）ですね。」

「いってきます。」

「いってらっしゃい。気（き）をつけてね。」

何（なに）げないあいさつを交（か）わしあえるよろこび

それは、平和（へいわ）という宝（たから）もの

でも、それは争（あらそ）いや _____ 多（おほ）くの _____ 悲（かな）しみを乗り越（こ）えて

築（きず）かれてきたもの

今（いま）を生きる私（わたし）たちに託（たく）されたことは、

すべての人（ひと）にそん（そんな）な平和（へいわ）が訪（あ）げられるよう

お互（たが）いを認（みと）め合い、 _____ 分（ぶん）かち合（あ）える社（しゃ）会（かい）を現（げん）現（げん）し

次（つぎ）の世（せ）代（だい）へつないでいくこと

私（わたし）たちは叫（な）びます。

「人（ひと）を不（ふ）幸（こう）にする武（ぶ）器（き）はいらぬ。持（も）つことも認（みと）めない。」

「歴（れき）史（し）が培（つちか）った大（たい）切（せつ）な財（ざい）産（さん）を消（け）し去（さ）ることは許（ゆる）さない。」

私（わたし）たちは呼（よ）びかけます。

「明（あ）すを今日（きょう）よりいい日（ひ）にしよう。」

「みん（みんな）に感（かん）謝（しゃ）しよう。」

「あなたがいてくれてありがとう。」

そして、すべてのもの（もの）に「ありがとう。」

私（わたし）たちは宣（せん）言（げん）します。

大（お）井（い）川（がわ）の清（せい）流（りゅう）に育（よ）まれた緑（りょく）豊（ゆた）かな島（しま）田（た）市（し）が

平和（へいわ）を願（ねが）う世（せ）界（かい）中（ちゆう）の人（ひと）たちととも

笑（えが）顔（が）の絶（た）えない明（み）るい未（み）来（らい）を指（さ）して

歩（あゆ）みつづける平（へい）和（わ）都（と）市（し）であること

	パブコメ意見(全文)
全体	<p>前回「①なぜ今、島田市が平和都市宣言をするか、その理由。②平和への取り組みとして島田市は今までどんなことをしてきたか。この説明を宣言文とは別に併記することも必要」、<担当からの回答>「宣言文を披露する際に作成するパンフレット等にはご指導の事項を盛り込んでいきたいと考えております」回答ありがとうございました。</p> <p>① 今回もうひとつ追加「③平和都市宣言をした後、島田市は将来にわたり、どのような具体的な活動をしようと考えているか(宣言文をどのように活用するかなど)も併記していただきたい」と思います。</p>
	<p>皆様御苦勞様です。大変な行程だと思いますが頑張ってください。透明な“平和宣言”であって欲しいと重いますが、少しペールをかけすぎた感じがしてピンとこないというのが正直なところ。せつかくの平和都市宣言ですから、</p> <p>② きっちり、りん、世界に宣言したいと思えます。平和都市宣言を本当は“非核”も入れて欲しいです。しかし、これまでなかった平和都市宣言をしてくれるということは、大変貴重で嬉しく思って大きな期待を寄せている一人です。</p>
	<p>宣言を考えるにあたって、文章を作ることの難しさを痛感しました。ご苦勞をお察しします。戦争はしない、核兵器をなくすという文言は必ず入れてほしいです。</p> <p>③</p>
	<p>戦争の悲惨さを二度と再び繰り返さないと固く決意新たに出發した日本は、この69年間幸いにして戦争を経験する事無く現在に至っています。「平和都市」を宣言する事の意味は、平和を強く求め、暴力と武器をしりぞけ、戦争を拒否する私たちの姿勢を明確にさし示し、みんなで決意を新たにすることだと思えます。その点からも、「宣言文」に「戦争拒否」がはっきりと示される事が望ましいと思われま。</p> <p>④</p>
	<p>宣言とは広くほかの人に向かって、個人(団体)が意見や方針を公表すること、だそうです。宣言の内容をそんなとかそれはとかでなく言葉として具体的に表現した方が良いのではないかとと思われま。</p> <p>⑤</p>
	<p>平和都市宣言については、出遅れているわが島田市ですが、昨年のアンケート募集の時には、私の思いを書いて応募しました。しかし、3月25日の第3回制定委員会を傍聴して、その時文案がすでに出来上がっていて、しかも、国語的な見地から一言一句、句読点まで検討されていることに驚きました。その後、4月～5月にかけて募集されたパブリックコメントへの意見がはたしてこの文案をつくがえて、ちがう文言をとり入れられるのだろうかと思いました。</p> <p>⑥ アンケート、制定委員会パブコメとすすめられている仕事の順序がこれでよかったのかと心配しています。各段落ごとの意見欄には私がどうしても入れたいことを文案的に書きました。</p>
	<p>皆様のご努力を多としますが、「宣言文」は世代間の理解、平易な文章表現を重視するあまり、心地よい文章ですが、余りに残らない文章と思えます。戦争の悲惨さは、語りつくしても、なお語りつくせない悲劇を世界の人々に今日においても続けられています。広島・長崎を始め様々な地域において、体験者による草の根的「語り部」が続いている所以ではないでしょうか。当市においても例外ではなく、戦争末期の1945年7月26日に、原子爆弾の模擬爆弾「ハンクン爆弾」が、投下され49人の尊い犠牲者が出ました。毎年7月26日には、市長も列席されての式典が開催されています。</p> <p>⑦</p>
	<p>島田市民になり早30数年、日々の暮らしの中で忙しさにまぎれ自分達の生活のあわただしさに身を置き、やっとな社会のまわりを見わたせてこれる様になった時に新婦人の会で(島田市平和都市宣言文案)パブリックコメント会議を見学する機会に節しました。見識のない私にはとても重い課題、他市の宣言文を読ませてもらいましたが、私の考えた事ですが、島田市の宣言文案は読むかぎり優しすぎ詩の様でハートにぐっとひびきません。もっと力強く心に訴える様な言葉、それと核兵器、大量破壊兵器廃絶のうたい文がありません。他市の宣言案を参考にしながら、島田市民が力強く未来の子供達のために胸をはって残せる文案を願いたいと思いました。1～6までの文案対しての意見ですが、どこをどう云うふう言葉を入れたり言葉が考えつきません、申し訳ないのですが、ちなみに、藤枝市、非核平和都市宣言は、昭和62年12月18日とありました。平成になる前にこの様な力強くも素晴らしい文を宣言しています。島田市も、もっともつと良い宣言文が生まれる事を期待いたしております。島田市を愛している一市民として。</p> <p>⑧</p>
	<p>「島田市平和都市宣言」制定の経緯は、定例記者会見懇談会で「平和都市宣言制定について」により報告している。一番大きな理由は、戦争で大きな被害を受けたこと。その反省の元に戦争の惨禍が再び繰り返されることのないよう戦争体験を正しく語り継がなければならない。しかし、体験者の減少及び平和への考え方や価値観が多様化している社会情勢により、平和への思いを共有し、意識を高めるためのひとつとして平和都市宣言を制定することとした。この経緯があるにもかかわらず、今回の島田市平和都市宣言(案)は、制定理由が具体的に書かれていないため、時が経つとともに、本来の意味が不透明になる恐れがある。世界唯一の核被爆国として、核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さを語り継がなければいけないのに、具体的に書かれていない。平和ボケしないよう「非核平和都市宣言」となる内容を付記すべきである。</p> <p>⑨ 表題を「島田市非核平和都市宣言」とする。</p>
	<p>・島田市の後に非核とか核廃絶を入れて下さい。</p> <p>・平和都市宣言で、核兵器を無くせ、という文字の入っていないものがあるのでしょうか。</p> <p>⑩ ・来年ニューヨークで、核不拡散条約(NPT)再検討会議が開かれます。</p> <p>・世界中のほとんどの人が核兵器の廃絶を望んでいると思えます。</p> <p>・島田市は広島型原爆の模擬爆弾を落とされたのではなかったですか？</p>

パブコメ意見(全文)

⑪ 県内で平和都市宣言をしていない市町が2か所を残すのみと知り、ここで宣言をするということに喜びを感じています。地球のどこかで戦争が起き、幼い子供や弱いものが犠牲になっているニュースを見るにつけ心が痛みます。日本は憲法9条があり、人を殺すことも殺されることも(戦争によって)なく、69年間続いています。島田市のこの案を拝見し、心にひびく言葉が少なく、もっとはっきり表現する必要があると感じます。「宣言」というより「詩」を読んでいるような思いでした。「説明」には多くの事が含まれていますが、「本文」が短くてとても残念です。

・「宣言文案」には「核兵器廃絶」の言葉が入っていないことにこれで良いのか？と強い不満を感じる。島田市は「平和市長会議」の加盟自治体であること、平和市長会議は広島市長が1982年(S58年)に国連軍縮特別総会で「世界の都市が国境を越えて連帯し、ともに核兵器廃絶への道を切り開こう」(核廃絶に向けての都市連帯推進計画)と世界各国の市長あてに賛同を求めたのが始まりで作られた団体である。この主旨に賛同し加盟し平和宣言をするとしたならば、当然「核廃絶」の言葉は入るべきではないだろうか。

⑫ ・各地の自治体が、非核平和都市宣言を行ってきた経過(別紙参照)をみれば必然的に「核廃絶」と「日本国憲法を守る」言葉が入ってくるはず…。また、宣言することが「核兵器のない世界」の実現に果たす役割が大きい。

・「小中学生にもわかる文章」ということに固執する必要はないと思う。小中学生もいずれ大人になる。島田市にはこんなに立派な平和宣言があったんだ、僕たち、私たちは大人たちに守られてきたんだと誇れる宣言文にしてほしい。

・市長はじめ、市職員、議員、制定委員の皆さん、他市の宣言文をお読みいただき今後のことに臨んでいただきたいと…心より思います。(他市に引けを取らない宣言文にしてほしいがために)

⑬ 島田にも戦争があった。島田空襲の惨禍は原爆模擬爆弾の投下訓練によるものだった。核も戦争もない平和な世界を実現するために、戦争の悲惨さやいのちの尊さを語り継ぎ、平和のために歩む島田市としての「平和都市宣言」としたい。

・全体に内容が抽象的で平和都市宣言と思えない。

・今、世界のあちこちで争いが起こっており、とても心配です。

⑭ ・私たち島田市民は穏やかな気候に恵まれ、本当に平和の中で暮らしています。でも今「原発の問題」「集団的自衛権の行使容認」「近隣諸国等との関係」等不安材料は一杯あるのにと心配になります。

・この平和が守られるために伝え学んでいける宣言文を望みます。

⑮ 広報しまだ3月号(P9)の案内では、単に「戦争をなくそう」「核兵器を廃絶しよう」ということにとどまらず何げない日常の中にある平和の尊さに気づき、その大切さを次の世代に伝えていく宣言文をということでしたが、この内容では肝心の一番大切なことがとどまらず消えているようです。戦後69年平和憲法に守られている。そのおかげで戦死者を一人も出すことなく、現在生かされていると思っていました。だんだん何やら不穏な情勢も聞こえてくる中では…。個人の自由も心の表現もまるでない暗黒の時代は知らない国民が大多数になっているからでしょうか。やさしい言葉だけで内容が抽象的で具体性がありません。下段落の最初の「あいさつ」=「平和の宝もの」と、とらえてしまいそうです。

今こそ平和の宝物は「平和憲法」だと、もう一度再認したい。この憲法に守られてこそ、この「のどか」な平和宣言が出来るのかも知れませんが、それにしても戦争を体験した人、多くの戦死者たちの悲しみは伝えるべきです。戦争の世紀から21世紀は平和の世紀であると改めて宣言してください。

⑯ 「平和都市宣言」である以上、その根底には世界に誇り得る「日本国憲法」のあることを強調してほしい。近くには第二次世界大戦のような数多くの尊い人命を虫けらのように奪ってしまった戦争の悲劇が年と共に薄れてきているように思われるので「平和である」ことをもっと強調しておくべきであるとー。

⑰ 「日本国平和憲法」を変えたい動きや原発再稼働の動きなど平和を脅かす、人間の生命を危機に追い込むような動きには強く反対すべきであるし、今こそ「平和都市宣言」をすることの重要さを感じる。その内容も強く訴えるものであってほしいし、明るい未来の展望のあるものにして頂きたい。

⑱ 平和宣言を出すのは今でしょ！タイミングが良く大変良いことと思いますが、現在の「平和」があることを深く心に刻み再考し「平和」を永遠のものにするこの意味、主張をはっきり表明する宣言文としてもらいたい。やさしい言葉で内容も抽象的で何の宣言文か？疑問です。

⑲ だれにも解かるやさしい文章で…という主旨はわかりますが、やさしい中にも安易すぎて言葉の深さ・広さはどうなのでしょうか？もっと、日本にあったこと、身近にあった過去の出来事も含めて発信したら良いと思います。

⑳ 全文を読ませていただき、平和の大切さは伝わってきました。しかし、長崎・広島は被爆でなく、この島田の地で20年7月26日朝に空襲を受けています。私の母、祖父母、曾祖母からその当時の話を聞いている私にとってはその当時のことが宣言文中にないことはとても悲しく、居た堪れなくペンをとりました。昨夜「島田市扇町 被爆の記録」を読み直し涙が止まりませんでした。(文中に私の母の兄、祖父母、曾祖母の文面があります)戦争体験者も年々少なくなっている今、どうか、次の世代へ継承していただきたいです。(私は保育園勤務している頃は、年中年長児へは戦争の紙芝居や絵本を読んでいた。特に「ひろしまのピカ」の絵本はインパクトが強く、子ども達も引き付けられるものがあります。園児には、「みんなの住んでいる島田にもこんな悲しいことがあったんだよ」と話をしていました。文がまとまりませんが、どうか伝えていってください。)

⑳ ・7/26に扇町に落とされた模擬爆弾のことが宣言にのっていないのはおかしい。島田市の特徴を出した宣言にしてほしい。

⑳ ・「人類をほろぼす核兵器はいらない」という意味の言葉を入れるか、島田市平和都市宣言の間に非核を入れて「島田市非核平和都市宣言」にしてください。

パブコメ意見(全文)

1

- ② 具体的にみえてポヤケル文言に思うのですが。
- ③ 戦後、戦争はしないと決めて70年、日本は戦争を起したり、戦争で人を殺したりしていない。それは誇るべき宝もの。
- ④ あいさつ文前段2行、後段2行 → 削除
 ④ 最下段 それは、平和のもたらす宝もの とそれぞれ変える
- ⑤ 前4段の部分は不要と思われます。
- ⑥ 「おはようございます」
 「いってらっしゃい。気をつけてね」
 何気ないあいさつを交わしあえるよろこび
 それは日々の平穏なくらしがあって
- ⑧ 1の文案は各家庭で子供達にしつけをしていれば、今朝、今夕ご近所で顔を合わせれば自然と出てくるあいさつだと、私は考えますので、この1の文案は削除した方がと思います。四行めまで。
- ⑩ 説明文をよまないと意味がわからない。
- ⑪ 何げないあいさつが出来ることが平和であるとは限らない。平和の宝ものは憲法であると思います。
- ⑫ 日常的にあいさつはいろいろあり、これだけを特別にあげる必要はなく、また、宣言文としても文体がどうか？と疑問を感じる。個々の努力で平和があることは心象的なもの。ひとたび核戦争が起これば、人類は滅亡するという事まで考えれば根本的な平和がなければ個人の平和はないのだと常日頃考えている。
 ⑫ 市民アンケート「戦争や核兵器などによる命を脅かされることのない日常」が導き出された想いが文案の中にあるのならばっきりこのことを文章化してほしい。
- ⑬ 「おはようございます」「いってらっしゃい」「いってきます」「気をつけてね」と簡略化する。
- ⑭ 何げないあいさつを交わしあえる生活から、今私たちは平和なんだと感じるということを大切にしてくれた文章だとは思いますが、宣言文としては長すぎる。
- ⑮ これではあいさつ運動(小学校でやっています)=平和の宝になってしまいそうです。下の3行にして、「いってきます」「いってらっしゃい。車に気をつけて」何げないあいさつを交わしあえるよろこび 等にして
- ⑰ 「平和という宝もの」どこから来たの？が先
- ⑱ あいさつが少し、くだいと思います。「おはようございます。今日はいいお天気ですね」は削除。「いってらっしゃい」を削除。「気をつけてね」のあとに「毎日の」を追加。「よろこび」の後に「すべての人が健康で文化的な生活と、教育を受けられるよろこび」を追加。

パブコメ意見(全文)

2

- ② 前段のあいさつ文の行数に対して“戦争”の悲しみが少なく“争い”と一般化した言葉で弱い気がします。
- ④ でも、それは戦争と多くの不安と悲しみを乗り越えて 築きあげ守られてきたもの
- ⑤ でも、その宝ものは、争いや多くの悲しみを乗り越えて築かれてきたもの
- ⑥ しかし忘れてはならないのは太平洋戦争末期、まさにこの地で模擬原爆が炸裂し、市民の命が奪われました。島田空襲です。そして、広島・長崎での原子爆弾被爆。さらに焼津市の第5福龍丸が死の灰を浴びるに至って、戦争の悲惨さ、核の恐ろしさに直面しました。
- ⑨ でも、それは戦争や災害など、多くの悲しみを乗り越えて築かれてきたもの に訂正する。
- ⑩ 過去の戦争のことを言っているのならそう書いてくれないとわからない。
- ⑪ 「平和」という理由にこれではあまりにも簡単すぎます。
- ⑫ ・広島・長崎への原爆投下は許されない。世界で初めての残虐行為であり悲しいできごと、その悲しみを乗り越えてきたことは被爆者を中心に二度と核兵器は作らせない、使わせない、開発も許さない…の運動をしてきたから。被爆者は大きな犠牲をはらっている。
・島田市は、広島型の模擬爆弾が投下され犠牲者が出たことも明記してほしい。
- ⑬ これでは判りません。もっと具体的にしてほしい。特に島田市には、原爆の模擬爆弾が落とされた、空襲まであった戦争の過去は忘れてはいけないことだと思います。文の中に入れてほしいし、入れるべきです。
- ⑮ 具体的に多くの悲しみの中の一例を入れる。例えば一昭和20年7月26日朝、扇町の人たちは一発の爆弾で四十余名の死亡者を出したこと、平和な朝はある日突然失うこともあること。それら幾多の悲しみを乗り越えて築かれたものです。
- ⑰ 市民の命の大切さ、強さ、優しさで築かれてきたもの
- ⑱ 「それは」の後に「一世紀にも渡る」、「多くの」の後に「苦しみ」を追加。「もの」の部分を「財産」

パブコメ意見(全文)

3

- ② 抽象的ではないでしょうか。
- ③ 今を生きる私たちに託されたことは、そんな平和がずっと続くよう「戦争はしない」と次の世代へ語り継いでいくこと。
- ④ 私たちはお互いを認め合い、戦争のない社会を目指し 次の世代へつないでゆきたい
- ⑤ 今、私たちに託されていることは、すべての争いや悲しみのない平和が保たれるようお互いを認め合い希望に満ちた社会を実現し次の世代へ繋げていくこと。
- ⑥ 今を生きる私たちに託されたことは、荒廃した町を復興させ、発展させてくれた先人の努力を受け継ぐこと。日本国憲法に記されている恒久平和の理念のもと。戦争をしない国民としての誇りを次の世代に引き継ぐことです。
- ⑧ 3行目 分かち合える希望にみちた社会を実現し
- ⑨ 今を生きる私たちに託されたことは、すべての人にそんな平和が恒久に訪れるよう核をなくし戦争をなくすため、お互いを認め合い、分かち合える社会を実現し、次の世代へ繋げていくこと に訂正(追記)する。
- ⑩ 差別とか戦争とかいう言葉をどうして入れないのでしょうか？
- ⑪ 「すべての人に、そんな平和」とありますが、平和の意味の説明が簡単すぎて言葉が足りない。
- ⑫ どんな平和なのか？具体的にどんな社会なのか？抽象的すぎる 私たち大人の役割として世界に誇れる日本国憲法を守り、次世代に引き継ぐことを明確にしてほしい。
- ⑬ 今生きている私たちに託されていることは、「平和憲法を守ること」で全ての人に平和があると思います。今、世界のあちこちで争いがあり、日本も最近の動きはとても心配です。市民皆が今の憲法によって守られていることを共有できるよう知らせ訴えることが大切だと思います。
- ⑭ 今を生きる私たちに託されていることは世界中すべての人々がお互いを認め合い、分かち合える社会を実現し次の世代へつなげていくこと。
- ⑮ 平和を永遠のものにするために守り、育み、お互いを認め、自由と助け合いの大地を繋げていく
- ⑯ 「訪れるよう」の後に「過去の戦争のあやまちをきちんと見つめ反省し」を追加。「認め合い」を「認め合うこと」とし、その後「その上に立って、平和を」を追加。

パブコメ意見(全文)

4

- ① “歴史が培った大切な財産”とあるが、具体的にはどんなものか。前回の説明では“先人が培ってきた文化や遺産”とのことですが、抽象的な感じがします。各自想像せよという意味かな？私にとって具体的には平和憲法になりますが。(質問です)
- 大切な財産を消し去ること
平和ということばもないし、消し去るでは弱いと思います。
- ② 兵器のみで核兵器も入っていないのは、とても残念。
武器はつくらない、つかわない、輸出もしないで欲しい。
- 私たちは力を尽くします。
・核兵器をなくし、戦争のない平和な世界を実現すること。
③ ・歴史を学び、未来に生かすこと。
- 私たちは宣言します。
「人を悲しませ不幸を生む武器はいらない」
④ 「自由を大切にし命を尊重する」
「人々が築きあげてきた大切な財産と命を守る」
- 私たちは叫びます。「人を不幸にする核兵器など大量破壊兵器はいらない。持つ事も許さない」
⑤ 「歴史が培った大切な財産を消し去ることを許さない」
- ⑥ 武器が核兵器のことをさすのならそう書けば良いのに。非核三原則とかいう言葉は難しすぎて使えませんか？
- ⑪ 突然「叫びます」と強く出ていますが、叫ぶものではない。「歴史が培った大切な財産」日本の平和憲法 と表現してもいいと思います。
- ⑫ (4, 5一緒に)核兵器はいらない 持つことも許さない
- ⑬ 「核兵器を持つことも認めない」と非核を表現する。
- ⑭ 平和憲法を守り、人を不幸にする武器はいらない。持つことも許さない。原爆・原子力のことも考えよう。自由と平等を大切に、命を守ろう。
- ⑮ 「叫びます」は誰が誰に向かって？でしょう。誓いますではないでしょうか。
- ⑰ (4, 5について)叫びも呼びかけもいらない。内からにじみ出てくるもの。上記を少し具体的に
- ⑱ 「叫びます」は宣言としてふさわしくありません。「私たちは約束します」or「私たちは行動します」。「持つことも許さない」の後に「そして人を殺める戦争は許しません」を追加。「財産」を「時間」にし、「消し去ることは許さない」の後に「二度と核兵器の使用は許しません」を追加。広島長崎に落とされた原子爆弾は今も多くの人々を放射能で苦しめています。ここ島田市、普門院でも模擬爆弾が落とされ痛ましい、忘れられない過去があります。

パブコメ意見(全文)

5

- ① 私たちは呼びかけます。
「命を大切にしよう」
「お互いの立場を尊重し助け合おう」に変更を。
- ② 具体的であるようにみえているが、逆で、こういう抽象的まとめでいいのかなーと思うのです。
- ④ 私たちは呼びかけます。
平和について、戦争について、命について
自由に語り書く事の大切さについて
大いに論じ続けてゆこう
- ⑤ 私たちは呼びかけます。一人一人の命を大切にしよう
下4段は不要と思われます。
- ⑦ 「島田市から発信する宣言文であることがわかる表現がほしい」、との趣旨もあるとの事、「島田市だから発信できる、書くことが出来る内容ほしい」。と思いますが如何でしょうか。島田市民の先人が体験した悲惨ですが貴重な体験を後世に伝えるものとして。文章表現は、制定委員会にてお考え下さい。
- ⑧ 基本的人権という言葉も入れると難しくなってしまうて使えないのでしょうか？
- ⑪ 呼びかけるならもっと具体的に、核はいらない 命を大切に戦争より話し合いをして平和を守っていこう
- ⑫ 道徳的なものであり当たり前のことであり押しつけがましい宣言文にはふさわしくない
- ⑬ 呼びかけは感謝だけではなく、平和の為の行動を表す表現にする。「戦争の悲惨さを語りつぎ、いのちの尊さを伝えよう。」「今日よりいい明日にしよう」「あなたがいてくれてありがとう」
- ⑭ 呼びかける事としてこの文は不適切な気がします。(大きな課題を見つめ話し合い行動したうえでこの文の毎日ができるし、していきたい行動です)4, 5の項を具体的にしてまとめた方が良い。平和憲法 戦争は絶対しない 原爆・原子力の事自由・平等・人権を守る 事などを皆で大切に、考え、行動していこう等入れてほしい。
- ⑮ 私たちは誓います。生きとし生けるものすべての命こそ宝です。生かされていることに感謝して、すべてのものに「ありがとう」
- ⑯ 上から目線で押しつけに聞こえます。

パブコメ意見(全文)

6

② 明確な宣言を希望します。島田市民の熱い想いを世界中に発信してほしいです。

③ 私たちは宣言します。
大井川の清流に育まれた緑豊かな島田市が
平和を願う世界中の人たちと力を合わせて
共に豊かに暮らせる未来を目指して
歩み続ける平和都市であることを

④ 私たちは宣言します。
大井川の清流に育まれた緑豊かな島田市が
平和を願い戦争を拒否し子供達と共に
笑顔と明るい未来を築き平和都市として
歩み続ける事を

⑤ そのままで良いと思います。

⑥ 大井川の清流に育まれた緑豊かな島田市から
全市民こぞって核なき世界を希求し、ここに
平和都市宣言をします。

⑦ 憲法前文を表現しているのなら何も言い換えなくても小学生でも理解できると思います。

⑧ 全ての国から核兵器をなくすことを強く訴え、戦争をなくし真の平和を実現するため努力を続ける
⑩ 「(非核)平和都市」であることを宣言します。

⑪ 平和で争いのない明るい希望ある未来を築いていこう

⑫ 「私たちは宣言します」を一番下にしたら、もう少し確かなものになるのではないのでしょうか

⑬ 宣言でなく、主張に。「ここに平和都市宣言をします」

⑭ 「島田市が」の後に、「核兵器や戦争のない世界を目ざし」を追加。

⑮

【説明等】

<構成について>

全体の構成としては、身近な環境から世界へと目を向けていくことと同時に過去から現在・未来へと続く時代の流れに沿って平和を目指す姿勢を示しています。

先ず、飾らないあいさつが交わされる平穏な日常を平和の象徴としてとらえています。そして、その平和が多くの犠牲と先人の努力のうえにあることを述べ、後段は、平和の尊さを未来に継承していく責任とそのためすべきことを提言して締めくくる構成としています。

段落1. 平和の尊さ

段落2. 過去から現在までの平和の構築

段落3. これからの私たちの責任

段落4～5. 決意とメッセージ

段落6. 締めくくり（宣言）

<段落ごとの説明>

段落	本文
1	<p>「おはよう」 「おはようございます 今日はいいお天気ですね」</p> <p>「いってきます」 「いってらっしゃい 気をつけてね」</p> <p>何げないあいさつを交わしあえるよこび それは 平和という宝もの</p>

段落	説明
1	<p>《要旨》</p> <p>この段落は、ありふれた飾らないあいさつが交わされる日常生活を、安心して暮らせる平和な社会の象徴として取り上げることによって、平和に慣れてしまっているとも言われる現代社会において、あらためて平和とは何かについて考えていただくきっかけにしようとするものです。</p> <p>《文章解釈》</p> <p>（あいさつ文前段2行）</p> <p>地域や親しい人同士で交わされる自然なあいさつは、コミュニケーションの基本であり、自由に交流できる証しでもあります。そうした形のひとつとして、1日の始まりである朝のあいさつの風景を表現しています。</p> <p>（あいさつ文後段2行）</p> <p>家族の日常の中で交わされるあいさつです。親が子の無事を願う気持ち、家族が家族の無事を願う気持ちなど、日常生活の中での安全（交通、防犯、災害などのない）や安心（いじめや差別などのない）について、大切な人を送り出す者の何気ないあいさつに含まれた深い愛情に満ちた思いを「気をつけてね」という言葉で表しています。無事に帰ってくることがあたり前であることの幸せをあらためて考えていただきたいという思いを込めています。</p> <p>（下2段）</p> <p>平凡なあいさつをさりげなく交わすことができる環境は幸せなことであり、その環境は、誰もが望んでいる大切なものであるということを表しています。なお、「宝もの」という表記については、物質的な意味だけではないという想いを表すため、ひらがなとしています。</p> <p>この段落においては、市民アンケートから導き出された以下の想いを込めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紛争、戦争、テロや核兵器などにより命を脅かされることのない平穏な日常 ・ふれあい、コミュニケーション、仲良し ・元気（健康） ・思いやり ・感謝、謙虚な気持ち ・家族 ・安心、安全 ・子供が安心して学校に通える環境 ・いじめや差別の無い環境

2	<p>でも それは争いや災害など 多くの苦しみや悲しみを乗り越えた 強さや優しさによって 築きあげ 守られてきたもの</p>
3	<p>現在を生きる私たちに託されたことは、 すべての人に永遠の平和が訪れるよう お互いを認め合い 助け合い 分かち合える社会を実現し 次の世代へつなげていくこと</p>

2	<p>《要旨》 この段落は、今を平和と思える日常生活があるのは、過去の悲惨な歴史や多くの悲しみを乗り越えてきた先人たちや平和な環境を守り続けてきた人たちの苦労や努力があったということを決して忘れてはならないことを訴えています。</p> <p>《文章解釈》 過去の悲惨な戦争（空襲、原子爆弾による犠牲者など）、争い、自然災害、凶悪な事件や事故などによって、多くの犠牲者が出ました。強さや優しさによって悲しみを乗り越えた人たちや平和を守り続けてきた人たちの苦労や努力により、今の私たちの平穏な暮らしは築きあげられてきたものです。そういうことをあらためて考えていただき、今を生きる私たちが、決して忘れてはならないという思いを表しています。</p> <p>この段落においては、市民アンケートから導き出された以下の想いを込めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の犠牲（戦争、災害、犯罪、事故）を忘れない ・先人の努力への感謝
3	<p>《要旨》 この段落は、今を生きる私たちの責任は、平和社会の実現に努め、恒久的な平和を伝えていくことであることを訴えています。</p> <p>《文章解釈》 すべての人が永遠に平穏な日常を送ることができる真の平和を目指すことが大切です。そのためには、性別、言語、人種、障がい、信条、社会的身分などを超えてお互いを認め、助け合い、差別やいじめのない、奪い合うことのない信頼で結ばれた人減関係を築くことや生命の恵みを授けてくれる自然を敬う社会の実現をしなければならないこと、さらにはそれらを次の世代に引き継いでいくことが私たちの大きな責任であることを訴えています。</p> <p>この段落においては、市民アンケートから以下の思いを込めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普遍的な平和 ・自分たちだけではない ・相互理解、友好関係 ・ゆずり合い ・次世代へ伝える

4	<p>私たちは呼びかけます。</p> <p>「今日より明日をいい日にしよう」 「生命の尊さを伝えよう」 「あなたがいてくれてありがとう」 そして すべてのものに「ありがとう」</p>
5	<p>私たちは叫びます</p> <p>「人を傷つけ不幸にする道具はいらない 持つことも認めない」 「歴史が培った大切な財産を消し去ることは許さない」</p>

4	<p>《要旨》</p> <p>平和を目指すうえで大切なことを「呼びかけます」という形で表現しています。</p> <p>《文章解釈》</p> <p>平和社会の構築を目指す大切な1歩として、明日への希望と感謝の気持ちを持つことが必要であることを表しています。一日一日が更にすばらしい日となっていくように、前向きに進んで行こうという呼びかけです。また、生きていることのすばらしさ、大切さ、価値などについて次代を担う若い人たちに理解してもらい、未来に伝えていこうという呼びかけです。</p> <p>「ありがとう」とは、何かの行為に対するお礼だけではなく、大切な人を想う深い愛情に満ちた想い、お互いの存在を尊重する姿勢や、さらに、私たちが自然の恵みを受け、自然に生かされているということへの感謝を「ありがとう」という言葉で表現しています。</p> <p>この段落においては、市民アンケートから以下の想いを込めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼びかける ・明日への希望 ・感謝 ・人間の尊厳 ・自然の大切さ、自然への畏敬
5	<p>《要旨》</p> <p>争いごとを無くすための強い意思の表現です。</p> <p>平和を目指す決意を内外に向かって「叫ぶ」という形で訴えています。</p> <p>《文章解釈》</p> <p>私たちが平和社会の実現を目指すうえで、争いごとを無くすことは必須です。人を傷つける側も傷つけられた側もお互いに不幸になる武器や核兵器を含む大量破壊兵器などを絶対に使わないこと、持たない、無くそうという強い決意を表しています。また、私たちの郷土に息づく大切な文化、史跡、自然、人（心）を破壊や消滅から守る姿勢を強く訴えています。</p> <p>この段落においては、市民アンケートから以下の想いを込めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訴える ・核兵器を含む大量破壊兵器の廃絶 ・歴史、文化の継承

6	<p>私たちは宣言します。</p> <p>大井川の清流に育まれた緑ゆたかな島田市が 平和を願う世界中の人たちとともに 笑顔の絶えない明るい未来をめざして 歩みつづける平和都市であることを</p>
---	---

6	<p>《要旨》</p> <p>「平和と平等を目指す国際社会において名誉ある地位をしめ、自国のことのみに専念してはならない。」という憲法前文の精神に基づき、島田市だけでなく世界中の人たちとも手を取り合って、希望に満ちた明るい未来を実現するために、行動し続けていくことを強い意志を持って宣言するものです。</p> <p>この段落においては、市民アンケートから導き出された以下の想いを込めています。</p> <ul style="list-style-type: none">・島田ならではの恵まれた自然環境・平和を願うことの尊さ・笑顔・国内外の人たちとの交流、連携、協力
---	--